

横浜災害ボランティアネットワーク会議

平成 27 年度 第 2 回運営委員会について報告します。

日 時	平成 27 年 6 月 2 日(火) 18:00～21:00
会 場	横浜市健康福祉総合センター 8 階 会議室 8B
参加者	鶴見区災害ボランティアネットワーク（運営委員長） ガールスカウト横浜市連絡協議会 神奈川県生活協同組合連合会 南区災害救援ボランティアネットワーク 保土ヶ谷区災害ボランティアネットワーク 金沢区災害ボランティアネットワーク とつか災害救援活動ネットワーク 泉区災害ボランティア連絡会 瀬谷区災害ボランティアネットワーク オブザーバー：横浜市市民局市民活動支援課 事務局：横浜市ボランティアセンター

◎冒頭

・かながわ・よこはま防災ギャザリング 2016 実行委員会より、2016 年の実施についての説明と運営委員への参加依頼。

→ 例年は 1 月に実施しているが、今回は 2016 年 5 月 14 日(土)を予定している。

・固定化されたメンバーでのマンネリ化を防ぐ面もあり、各区災ボラネットの方にも運営委員として参加してもらいたい。

・次回の会議は 6/17(水)18:30～、かながわ県民活動サポートセンターを予定。

・当日の会場のある西区災ボラには後日依頼をする予定。

【議題 1. 平成 27 年度総会および会員向け研修会について】

・当日の流れについて確認。

・運営委員は、当日 17 時 15 分に集合し、会場設営や受付などを行う。

・前回運営委員会で提示した議案は、26 年度の事業報告および決算報告、27 年度の事業計画及び収支予算の 4 点であったが、第四次 3 カ年基本方針が平成 26 年度で終了しているため、平成 27 年度からの基本方針を諮る必要がある。

【議題 2. 平成 26 年度事業報告について】

・26 年度事業報告及び決算報告について事務局より説明。

・監事監査については、5 月 29 日(金)に行われた。

《意見・質疑等》

・大項目 1 の「横浜市災害ボランティア支援センターの組織体制の構築」の箇所は、訓練だけでなく、より具体的な取り組みを記載したほうが良い(市域団体との連携に向けた取り組みなど)。

・子どもを対象とした災害ボランティアに関する取り組みについては、もう少し詳細な内容を載せられ

ると良い。成果物の写真など。

・市域団体へのアンケート調査については、単に行ったという結果報告ではなく、どのような内容の回答があったのか載せた方が良いのでは。

→(事務局)総会に出すことへの了解をとっていないため、そのまま記載することは難しい。口頭などでの補足となる。

→現状の横浜災害ボランティアネットワーク会議は、区から出ている人が多く、市の支援センターの専従者が想定されていないのでは。

→それもあって、今回の市域団体へのアンケートに結びついたのでは。役割分担が出来ると良い。

→(事務局)27年度は個別のヒアリング等を通して、具体的な連携について考えていきたい。

・次年度への繰越金が多額であることについて、各年度内で有効な予算の使途はないか。

→防災ギャザリング等に協力してはどうか。

→スタッフとして出るのは良いのでは。

→毎年依頼はあるものの、あまり人が出ていない現状がある。

→元が独自性のある活動であり、まだ歴史が浅い。会場が横浜だが、一昨年までは独自に実施している。今の状況では難しい面がある。横浜市全体のつながりの中でこの委員会はある。

→まず人を出しても良いのでは。

・寄付金事業会計について、具体的な執行は今後もないのか。

→(事務局)ももとは1997年のナホトカ号の事故で原油が流出した際に、善意銀行から100万円が配分されたもので、ボランティアの派遣費用として使用した。その際の残額を、社協の了解を得て積み立てたもの。近年は執行がない。どのような災害の際にどのような支援を行うか、などの基準が作られていない。

→今後も、総会等で寄付金事業会計の性質についての質問が予想されるため、決算書に寄付金事業会計の意味や目的を載せたほうが良いのでは。

【議題3. 第五次3カ年基本方針について】

・第四次3カ年基本方針が26年度で終了となっており、27年度以降の方針を検討した上で、総会で示したい。

《意見・質疑等》

・27年度からの方針を出す前に、26年度までの第四次の三年間のまとめ・報告をするべきでは。

→どこまで出来たかをどの場で考えるのか。

→(事務局)総会の場で提案したいと考えている。

→3カ年基本方針と単年の事業計画との関係は、方針が前提にあってそれに沿って単年の事業計画を作るもの。3カ年の振り返りと、単年の事業報告は別物として出したほうが良い。

→26年度までの方針が達成できたかどうかを評価すべき。それを経なければ第五次は作成できない。

→以前の3カ年策定時も、総会の場では議決事項となっていない。報告の形で良いと思われる。

→取り組み自体に終着点がなく、達成を評価することは難しい。そのため、26年度までの第四次3カ年基本方針の報告については、取り組んだことについて状況をまとめて、総会で示すことと

した。報告という形で決はとらない。

・27年度からの基本方針について

→(事務局)各項目について、それぞれの項目を削除は考えておらず、基本的には各項目を継続して取り組んでいきたいと考えている。

→26年度までの第四次の内容は、特別な項目というよりは今後もずっと行っていくことでもある。27年度からの3カ年の各項目を引き継ぎとしても、3年後にまた同内容で引き継ぐ形になることも予想される。それでは重点的な取り組みとは言いづらい。

→これまでの各項目は、内容的に当たり前のことであるので、3カ年とせずに期限を設けない全体的な基本方針としても良いのではないかと。

→当初は全区に災ボラをつくることが目標で、3カ年ごとに区切って実施してきた。少しずつ体制が整ってきたこともあり、今後の基本方針は期限を設けずに掲げて、それをもとにして単年度ごとに計画を策定するという形はどうか。

→単年度ごとに計画も必要だが、三年間の目標も大事。年度ごとにぶつ切りにせずに目標をもって計画していく方が良い。

→目標も大事であるので、単年ごとの計画をたてる際に、各取組ごとに年度をこえた長期的なスパンでの目標を設定して、それを単年の計画に落とし込んでいくという方法もある。

→27年度以降は、期限を設定せずに基本方針を掲げて、それをもとにして単年ごとの事業計画を策定することとした。ただし、各取組について、3年程度の長期的なスパンで考え、それを達成するために各年度の計画に反映させていく形とする。基本方針の期限は設けないが、必要があれば総会等で諮って変更していく。また、これまでの基本方針に記載していた背景の部分については、恒久的なものにする書きにくい部分があるため、会則の目的を引用したうえで、基本方針につながるように記載する。

【議題4. 平成27年度事業計画について】

・前回の運営委員会で提示したものからの変更点を中心に説明。「子どもを対象とした、災害ボランティアに関する取組み」と「NEWS LETTER」の箇所を加筆。NEWS LETTERに関しては、26年度の総会でのご意見等もあり、発行回数を1回増やして年間3回とした。

《意見・質疑等》

・図上シミュレーション訓練について

→市のセンターの動きが見えない。区災ボラの動き等は分かるが、市のセンターの動き等についてのシミュレーションが自分たちにはできていない。

→運営委員は、自区のセンターではなく、市のセンターのスタッフとしての目線で訓練に参加するといいいのではないかと。

→事業計画に反映することとした。

【議題5. 子どもを対象とした災害ボランティアに関する取組みについて】

・企画書では9/23の実施を予定しているが、準備やシミュレーション等があり難しい面がある。実施の方法について検討。

《意見・質疑等》

- ・最初の一回が大事。ここで失敗するとあまり良いイメージをもってもらえなくなる。最低限 2 回は運営側でシミュレーションやモデル実施を行う必要があると思う。そうなると 9/23 は難しい。
 - まだ足りない部分はあると思うが、モデル実施をしなければいけないほどか。
 - 瀬谷区で中学生と高校生を対象にしたものを実施した。やり方次第で特に難しくはなかった。やれないこともないのでは。
 - 具体的な説明方法などもまだ決まっていない。準備とは、運営側の大人の準備のこと。子どもは出きると思うが、運営側がシミュレーションできていない。
- 実施日を 12/13(日)とし、それまでに企画を詰めて、モデル実施やシミュレーションなどの準備を行うこととした。また、総会等で出す資料については、資料に加えるなどして 26 年度の成果物をあわせて出すこととした。

【議題 6. その他】

○総会の運営について

- ・今年度は例年とレイアウトを変えて、運営委員と事務局が参加者と向き合う形とする。

○NEWS LETTER について

- ・次回の発行は 8 月のため、7 月末を原稿の締切りとしたい。今回より、会員から担当を決めて、記事の作成をしていただくことになっている。
- ・8 月発行号の担当は、鶴見区、金沢区、保土ヶ谷区、戸塚区の 4 区となった。
- ・掲載内容のルールはこれから整備していくが、各団体の活動の紹介(基本的には災ボラに関わるもの。個人的なものではなく、あくまでも団体の活動紹介)としてほしい。

以上。

※次回運営委員会:7月29日(水)18時00分～ 横浜市健康福祉総合センター 8階 8F 会議室